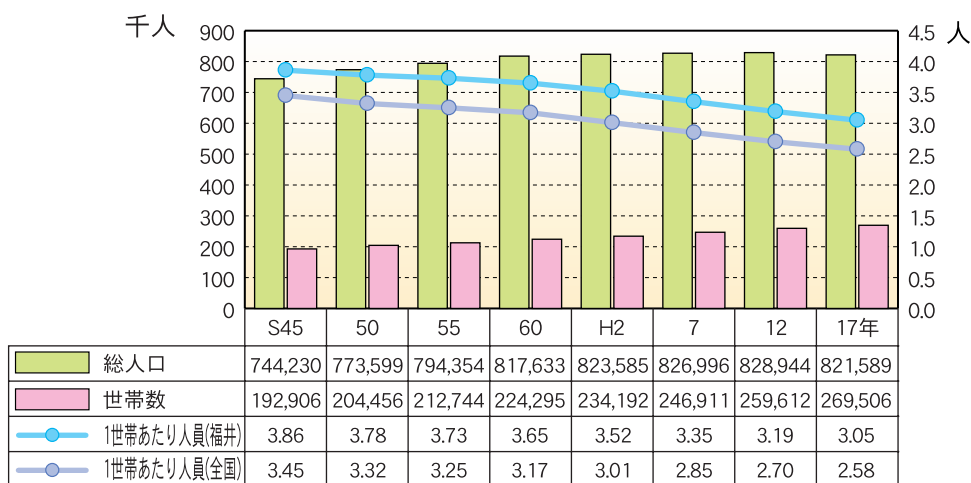


人口・世帯

★1世帯当たりの人員は3.05人で全国2位です。★

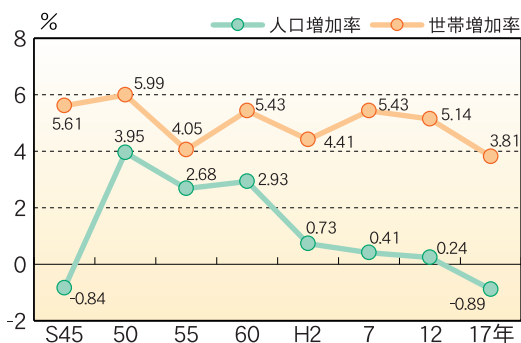
- 福井県の人口は、平成17年10月1日現在821,589人、世帯数が269,506世帯となっています(平成17年国勢調査総務省速報)。1世帯当たりの人員は3.05人で、出生率の低下や単独世帯の増加の影響などで、年々縮小していますが、全国平均と比較すると約0.5人多く、山形県(3.14人)に次いで、全国2位となっています。
- 人口増加率は、平成に入ってから伸びが鈍化し、平成12年以降はマイナスになっています。合計特殊出生率※は、昭和55年以降全国平均より約0.2高いものの低下が続いており、人口を維持するのに必要とされる2.08を大きく下回っています。
- 昭和61年から出生数の減少傾向、昭和63年から死亡数の増加傾向が続いており、平成16年には戦後初めて死亡数が出生数を上回り、自然増減数が減少に転じています。

人口と世帯の推移



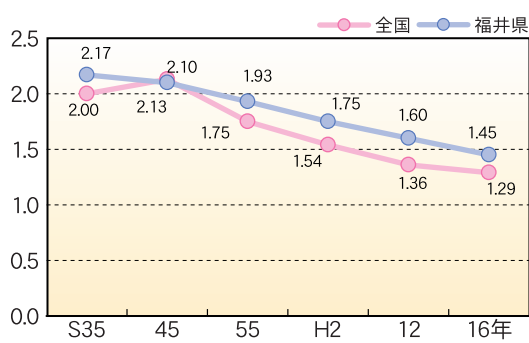
資料:国勢調査報告(総務省)

5年ごとの人口・世帯増加率の推移



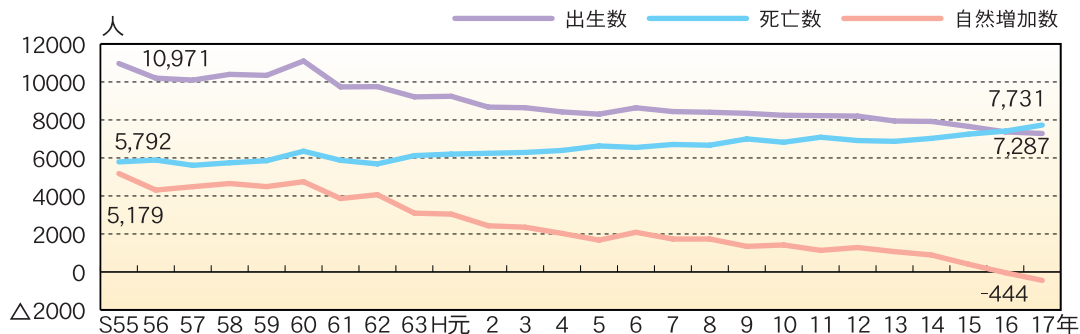
資料:国勢調査報告(総務省)

合計特殊出生率の推移



資料:人口動態統計(厚生労働省)

出生・死亡数および自然増加数の推移



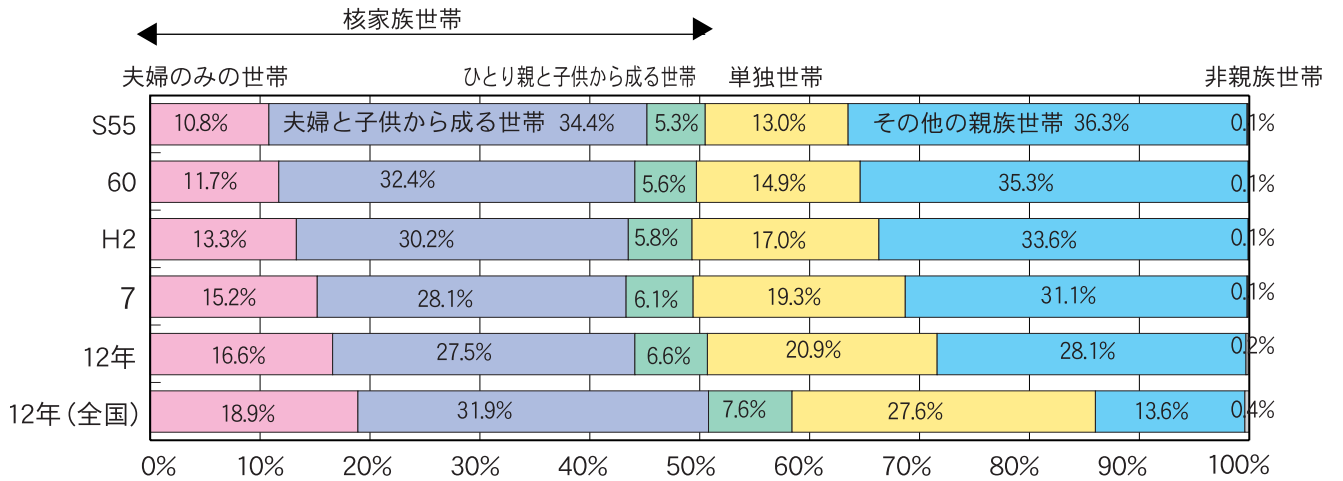
資料:福井県の推計人口(福井県政策統計室)

※合計特殊出生率

15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとした場合の子供の数に相当する。

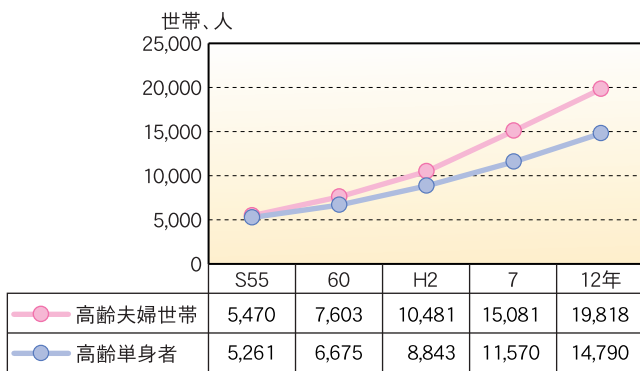
- 福井県の世帯構成の変化を時系列で見ると、「単独世帯」および「夫婦のみの世帯」が増加しており、その中でも特に高齢化を反映して高齢単身者および高齢夫婦世帯が増加していますが、本県の高齢単身者の増加率は、全国平均より低い水準にあります。
- 一方、「その他の親族世帯」が28.1%で全国平均より14.5ポイント高く全国2位ですが、これは3世代世帯が多いことが原因です。
- 本県の外国人登録者数は、中国が増加を続けており、平成13年にはブラジルを、平成16年には「韓国または朝鮮」を抜いて1位になっています。

一般世帯の家族類型別割合の推移

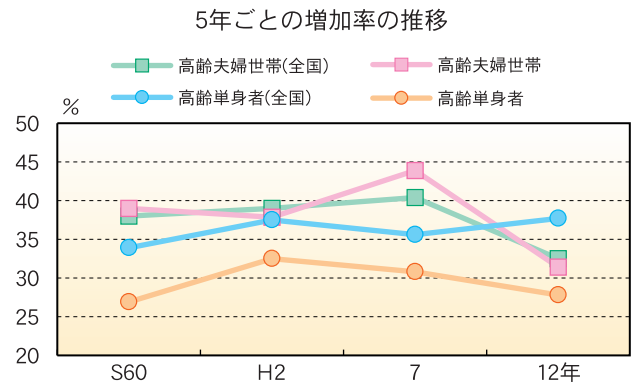


資料：国勢調査報告（総務省）

高齢夫婦世帯および高齢単身者（65歳以上）の推移

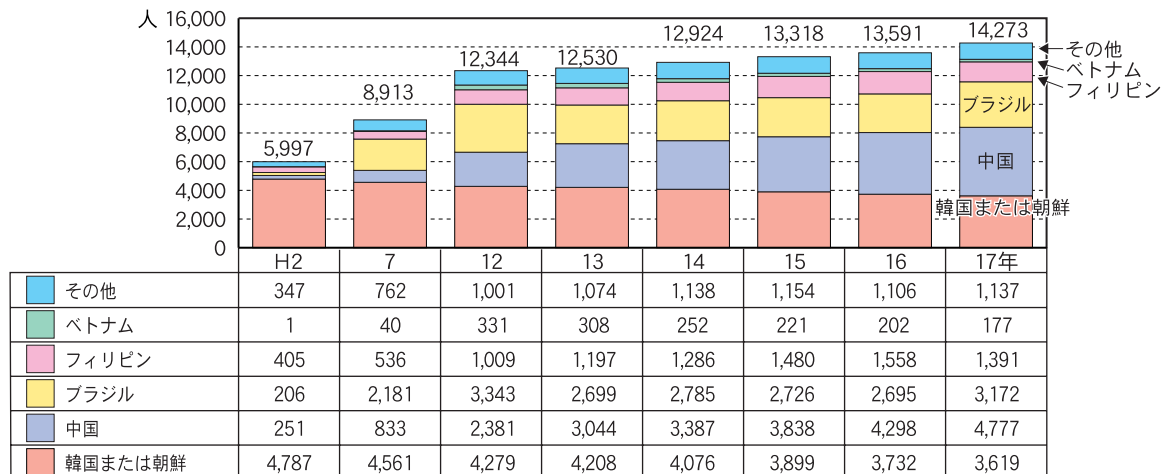


※ 高齢夫婦世帯とは、夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの一般世帯をいう。



資料：国勢調査報告（総務省）

外国人登録者数の推移



資料：福井県国際・マーケット戦略課